

まちの話題

My town topics

市内の話題や出来事などを写真を交えて紹介します。

1 環境問題への関心高める

1月29日、アクティブセンターで『第5回串間市環境フェア』が開かれました。環境問題に理解を深めてもらおうと、ふるさとの水辺環境を守る会が主催し、市民約50人が参加。環境学習に取り組む市木小児童の発表では、市木浜の清掃活動や森林活動体験などの取り組みを紹介しました。また、高千穂町役場の田崎友教さんと同町の村おこしグループの佐藤光さんが講演を行い、参加者は熱心に耳を傾けていました。



市木地区・ハケ谷
うまごえともこ
瀬越 智子さん

講演興味深い

高千穂から来られた二人のまちづくりについての講演が興味深かったです。高千穂は神話などポイントがあるけど、串間だって掘り起こせば何か誇れるものがあるはず。市民が少しずつエネルギーやアイデアを出し合っていく必要があると思いました。



第5回 串間市環境フェア

2 都井岬に春を呼び込む炎

2月4日、都井岬でダニの駆除や牧草の芽吹きを促すために行われる早春の恒例行事「野焼き」が行われました。岬を管理する都井御崎牧組合の組合員ら約40人が参加。参加者は、点火した竹の棒を手に丘陵に火を放つと、火はパチパチと音を立てて燃え広がりました。またたく間に一面は煙と炎に包まれました。野焼き後には黒い焼け跡が広がり、3月中旬には新芽が顔を出し始め、4月初旬から岬馬の出産シーズンを迎えます。



都井御崎牧組合 組合長
すわ ひであき
諏訪 英顕さん

都井岬に来て

組合員の高齢化が進んでいて大変ですが、今年は天候のコンディションもよく、スムーズに終わることができました。野焼きが終わるとすぐに春がやってきます。早ければ3月終わりにも春駒が生まれるので、ぜひ都井岬へ足を運んでほしいですね。



3 最後の思い出32キロ完歩

2月4日、小学校生活最後の思い出をつくること日南市の天福球場近くの広場から学校までの約32キロを歩く福島小学校の「ロマンウォーク」が行われました。1995年から卒業式前に実施している伝統行事で、6年生と保護者ら計130人が参加。午前9時すぎにスタートし、国道220号を南下しながらゴールを目指しました。途中遅れる子もいたが、励まし合いながらゴールの福島小まで全員が踏破しました。



福島小学校 6年生
もり はやと
森 隼人くん

達成感あった

中盤あたりから足が痛くなって大変でしたが、みんなと一緒に歩いたので楽しく歩きました。始まる前はリタイヤすると思っていましたが、無事ゴールできてよかったです。達成感があり、とてもいい経験ができました。卒業前のいい思い出になりました。



4 安心安全な地域を目指す

2月10日、市総合保健福祉センターで「串間市地域見守り活動に関する協定」調印式が行われました。この協定は、民生委員児童委員や自治会、ボランティアなどが行う既存の見守りに加え、市内の事業所にも地域の見守りに協力していただくものです。式には、串間郵便局、宮交タクシー、宮児タクシー、都城ヤクルト販売、ヤマト運輸の5事業所と串間警察署、社会福祉協議会、市の関係者が出席。協定が締結されました。



宮交タクシー株仲間営業所長
わかまつ かつみ
若松 克己さん

周知徹底する

これまでも警察とは連携して、認知症高齢者の方や子どもを発見したら報告してきました。今回の協定が締結されたことで、各事業所と各機関がさらに連絡を取り合って、スムーズな見守り活動ができると思います。従業員にも周知徹底していきます。



串間市地域見守り活動に関する協定調印式

5 新たな学習のきっかけに

2月12日、文化会館で「地域のつながりと絆をつくる、笑顔あふれる生涯学習社会づくりをめざして」をテーマに、『第24回串間市生涯学習推進大会』がありました。成果作品展ではクラフトなどが展示され、舞台では、民謡や詩吟など5団体が公民館講座や練習で培った成果を披露。その後、落語家古今亭志ん吉さんと大法輪寺の住職田口学法さんの講演。ユーモアたっぷりに講演し、来場者の笑いを誘っていました。



(写真左) 福島・霧島
たがみ さとみ
田上 里美さん

(写真右) 大東・古大内
たにくち きよこ
谷口 紀代子さん

発表いい経験

県民謡会串間支部で民謡を発表しました。民謡の練習を始めてから健康面も良くなったし、若返った気がします。生涯学習大会に参加して、今まで以上にいろいろと挑戦したいと思いました。二人とも抽選会で景品が当たって、今日は良い一日でした。



6 初めてのきんかんに驚き

2月20日、『第6回福島の子もたち宮崎に来るねキャンプ』の一環で、串間市へ訪れた福島県の5家族と関係者約15名がきんかんたまたまの収穫を体験しました。「たまたま」の生みの親である北方地区の古屋修市さんのハウスで行われ、収穫の仕方などを説明した後、実際にきんかんを収穫。初めてきんかんを食べたという子どもも多く、採ったばかりのきんかんを頬張ると、おいしそうなお顔がこぼれていました。



福島県在住
なんぼ いさむ
難波 勇さん・ひとみさん
こはる ひなた
心春ちゃん・陽向ちゃん

宮崎に初上陸

被災者のママを支援しているNPO法人「みんなの家」を紹介してもらったことがきっかけで、初めて宮崎に来ました。空港に着くと、南国に来たみたいで暖かかったです。きんかんは、お店に売っているものとは比べられないくらいおいしかったです。



ゼンリンと災害時支援協定

2月2日、住宅地図などを制作する株式会社「ゼンリン」と災害協定を締結しました。この協定により、災害発生時の迅速な救助や復旧につなげるため、市内の住宅地図や大型の広域地図、インターネット用住宅地図のライセンスを無償で提供していただきました。



災害協定を締結



就労奨励金を地元就職の若者へ

2月7日、若者の地元就職やUIJターン者の定住促進を図るため、市内事業者にも雇用者として雇用された新卒者5名に対し、就労奨励金が交付されました。市が今年から始めた制度で、奨励金は10万円。交付式では、市長から5名に奨励金が手渡されました。



地元就職の若者へ奨励金を交付